

BPW Newsletter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN



2014.1.1
Vol.109

2014 年特定非営利活動法人
日本 BPW 連会
新年号

CONTENTS

- 理事長年頭の挨拶
日本 BPW 連合会理事長 名取はにわ
- BPWI コングレス
 - ・参加募集
連合会国際委員長 花崎正子
 - ・BPWI 総会について
連合会理事長 名取はにわ
 - ・決議案について
連合会企画委員長 平松昌子
- 国連女性の地位委員会(CSW)
 - ・企画参加
 - ・インターン生
- 東日本大震災復興支援事業
支援事業所訪問報告
- 東日本大震災被災者支援記録
『3.11 女たちが走った
女性からはじまる復興への道』
英語版出版について
- ブロック研究会
報告: 西日本、関東・山梨、近畿
北海道・東北
予告: 中部
- 国連安保理決議第 1325 号

日本 BPW 連合会ニュースレター

発行人: 名取はにわ

編集: 広報委員会

日本 BPW 連合会 事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木

2-21-11 婦選会館 303

TEL. 03-5304-7874

FAX. 03-5304-7876

E-mail: office@bpw-japan.jp

ホームページ:

<http://www.bpw-japan.jp>

年頭のごあいさつ

特定非営利活動法人日本 BPW 連合会理事長 名取 はにわ
明けましておめでとうございます。

今年こそ、BPW は、大きく飛躍することにいたしましょう。皆様、
どうぞよろしくご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

その前に、今年の活動について、ご報告いたします。

私たちは、認定 NPO 法人を目指しておりますが、その実現ま
で、少し時間を頂戴することになりました。具体的には来年 4 月
以降に、申請したいと思います。

これは、私たちが東日本大震災で店も工場も流された自営業者に少額の資金を援
助し、その再建をお助けし、被災地の復興に寄与したことが、営利団体を支援したと
して、認定条件に合わないこととされたためです。

公平を旨として行った支援活動は、政府やマスコミ他多くの方々がほめて下さりま
したので、このような解釈はおかしいと、多くの方々が知恵を絞り、また、ご尽力くださ
いでしたが、それも虚しく、2 年間じっと我慢することになりました。

その間に、NPO 法人として、さらに力をつけてまいりたいと思いますので、どうぞよ
ろしく願いいたします。

次に、昨年 9 月、かねてより協力関係にありますアメリカ、ボストンのフィッシュ・ファ
ミリー財団に厚子・東光・フィッシュさんを訪問しました。アメリカで長年苦勞をしながら、
道を切り開いてこられた厚子さんは、日本がよい方向に変わるためには、日本の女性
たちが、社会貢献の分野でリーダーとなることが不可欠であると考えておられます。お
話を伺いながら、世界で尊敬される日本人のお一人に、今まさにお会いしていると感
動しました。そして、厚子さんの熱意が、こんなにも熱く、長く続くことに、深く心を打た
れました。

今回、平松昌子さんと私が訪問し、JWLI(日本女性リーダーシップ・イニシアティブ)に
ついて、シモンズ大学の幹部と契約文書を取り交わしました。

これにより、日本 BPW 連合会は、JWLI の広報を担当することが明確になりました。
幸い、第 1 期生の平松さんをはじめとして多くの BPW の会員が JWLI フェローを経験し
て、日本で活躍しておられます。さらに多くの方々に JWLI について知っていただき、
優秀な女性をボストンにお送りしたいと思います。

昨年 12 月には、EU 地域コーディネーターのサビニさん(スイス)がひょっこり来日し、
志野会長はじめ京都クラブの皆様の温かいおもてなしを受けられました。その際、日
本のイコール・ペイ・デイの資料を、参考にしたいと言ってお持ちになりました。「日本
は 4 月 15 日? 遅いですね!」とのことでした。スイスは 3 月 8 日とか。

スイスでは、40 以上のクラブがあり、会員も数千人とのこと。イタリアは 100 以上のク
ラブがあり、会員が 1 万人を超しているとのこと! 若い女性が加入しているそうです。

さて、私たちは、今年 3 月に例年通り国連女性の地位委員会(CSW)に、インター
ンを派遣します。それに合わせて、ニュー・ヨークにツアーを組もうかと検討しています。

さらに、5 月には韓国済州島で、BPWI のコンgressがあります。世界とつながってい
ることが、BPW の大きな特徴ですから、会員の皆様に積極的に参加していただきたく、
お願いいたします。

世界の女性たちも、日本の女性と共通の問題に直面していますから、情報交換する
ことはとても有意義です。この問題ばかりは、あまり対立することなく、知恵を交換する
ことになるので、とても気持ちがよく、お互いに元気になるのです。そのような私たちの
活動を通して、日本社会をいいほうに変えていくことができればとてもうれしいです。

未来の女性たちがニコニコ働いている姿を思い浮かべながら、今年も一緒に課
題に取り組んでいきましょう。どうぞよろしく願いいたします。





第 28 回 BPWI JEJU コンgress
2014 年 5 月 23 日(金)～27 日(火)
済州島 / 韓国
「女性の力がビジネスをリードする」

参加のおさそい

国際委員長 花崎正子

BPW コンgress は、3 年に一度、どこかのメンバー国で開催されます。今期は、隣国の Jeju Island (済州島)。

コンgress 参加の意義は、個人によって異なりますが、私は次のように考えます。

【1】今回のテーマ「女性の力がビジネスをリードする」
ー5 トラックス: 政治・商業・教育・市民社会・その社会固有の慣習しきたりー我が国に引き寄せて考えれば、例えば世界経済フォーラム 2013 の報告が示すように、我が国の GGGI は 136 ヶ国中 105 位で、昨年(135 ヶ国中 101 位)よりもさらに順位を下げ、経済的には先進国と言われながらも男女格差は他国よりも広がっているのです。

政治・経済・社会・文化の諸側面でテーマに取り組もうとする今回のコンgress は、日本のこのような状況打開への考え方の糸口を与えてくれるのではないかと強い期待を込めているからです。すなわち、人間を取り巻くあるいは関わる事象の個々を、トータルに見直すことが重要ではないかということです。

【2】よく述べられていることですが、他国の土を踏み、他国の会員の方々と交流・情報を交換することで、他国の社会文化に直接触れ・学び、人間理解を深め、共生の可能性を開くのではないかということです。

【3】過去 4 回のコンgress にご参加の方々の感想・意見・意義を読ませていただきました。紙幅の関係上少しだけ挙げますと、多くの方が「外国の BPW 会員の方々の力強い活動に、触発された」というような意味のことを述べられ、またある方は「自分のクラブの活動が忙しいと

思っていたが、視角が広がり、見方が変わってきた」というようなことも述べられていました。このように、コンgress は大きな何かを与えてくれるものであるということです。

ご参加の方々にとって、より楽しく意義深いコンgress にしたいと思っています。ご質問・ご意見・ご要望をお寄せ下さい。できる限りお応えいたします。

プログラムも少しですが変わってきています。新たな企画など、逐次ご案内・お知らせをいたします。

みなさまと一緒に済州島コンgressに参加しましょう！

付記

1. 登録料:①早期割安登録(会員):800USD

締切 2014 年 2 月 28 日

②普通登録(会員):900USD

3 月 1 日以降

※登録料には、会期中 5/23～5/27 (5 日間) のすべてのセッション (5/24・5/25 の夜は除く) への参加費が含まれています。

2. 会場: Jeju International Convention Center Jeju

3. カンファレンス本部: Hyatt Regency Jeju

4. 連絡先: Anne Hilty, Congress Coordinator

Email: anne.hilty@bpw-international.org

5. オプショナル・ツアー (各自負担)

5/22(火) 女性企業家訪問、

5/28(水) Jeju の女性たち、

5/29(木) 神の庭園観光

5/30(金) Jeju 料理

※詳細はホームページをご覧ください

<http://bpw-international.org/congress2014/>



THE XXVIII
BPW INTERNATIONAL CONGRESS
JEJU KOREA 23-27 MAY 2014

BPWI 総会について

名取はにわ

5月の済州島コンGRESでは、シンポジウムやパネル多くのプログラムが展開されますが、その間を縫うように総会が開催されます。

総会には、各国のBPWが、それぞれの会員数ごとに割り当てられた投票権をもって臨みます。国連は各国1票で平等ですが、BPWIでは、会員数に応じて割り当てられます。日本は3票です。

日本は今回、災害とジェンダーについての決議案を提出することが承認されました。

2011年6月ヘルシンキコンGRESで、BPWIが「東日本大震災」復興のために寄付を募ってくれました。私たちが、黄色いベストを売って寄付を募りました。ガラ・パーティーでは、ヤングの女性たちが、籤(くじ)を売って、売り上げの半分を寄付してくれました。

昨年のフィリピン台風災害のように、今地球はどこで大災害が起こるかわかりません。私たちの経験をもとに、「防災対策、災害時、復興時に女性がもっと参加するように」という決議案を出すことにしました。幸い、決議案を提案することは承認されました。いよいよ済州島で決議の採択を目指します。

どうか、一人でも多くの方が参加して、応援してくださいようお願いいたします。

「チェジュ・コンGRESへ震災に関する決議案」

2014年5月 提出

企画委員長 平松昌子

世界各地で発生している自然災害。東日本の地震・津波災害は2011年だったが、その後も各地で大規模自然災害が発生している。2013年にはフィリピンで大水害が発生した。その大災害で問われるのは、「被害者としての女性をどう守るか、女性の被害を低減するためには、女性のエンパワーメントが不可欠である」ということが、国連を中心とする世界の潮流になりつつある。

災害による被害を減らすためには、女性のエンパワーメントが不可欠であり、その女性のエンパワーメントにむけて「私たちがすべきこと」への提案こそ、多くの自然災害を経験する日本が世界の女性たちのために果たすべき役割の一つであるとの認識で、チェジュ・コンGRESへの決議案提出を役員会で決定した。文案を作成しBPW Internationalの事務局に提出し、さらに規約委員長からの文案の文言修正などを経て、コンGRES提出決議案として受領された。

『災害における被害を削減するためのジェンダーエンパワーメント』というタイトルで提案され、多分採択されるだろう。この中で、災害被害を削減するために、

- ・災害前の防災会議に女性の参加を、
- ・災害時の避難所等に女性の管理者をおくこと、
- ・災害後には女性の自立支援を含む討議の場に女性を加えること

などを骨子とし、その実現に向けて各国政府に女性たちが発言することを盛り込んでいる。



第58回国連女性の地位委員会
UN Commission on the Status of Women
インターン派遣事業
2014年3月10日(月)～21日(金)

企画委員長 平松 昌子

第58回国連女性の地位委員会(CSW)は、2014年3月10日から21日までの日程で開催される。

今年のテーマは「MDGs=2000年に決定された8項目にわたる女性と女兒に対する開発目標＝がどこまで実現されたかを検討し、次の目標について議論する」というものである。2013年の第57回CSWは「女性に対する暴力撲滅」がテーマで、NGO3団体が日本政府の国連代表部と共催で行うサイド・イベントでは、BPWが中心となって作業を担当。BPW Internationalのエリザベス・ベンハム会長にもスピーカーとして出演願った。このときはインターン4人が大いに力を発揮して進捗に貢献し、関係者から賞賛された。

今年は、イベントの責任を担うのが、国際婦人年連絡会(BPWもその傘下にある)で、平松は政府側とNGO側との調整役を担当する。

今回のサイド・イベントのテーマは『自然災害におけるリスク削減と女性のエンパワーメント』を予定している。

今回BPW日本からの参加者7名とインターン5名、合計12名の大所帯となる。

団長は名取理事長、他に岡内副理事長、花崎国際委員長、村田ヤング委員長、東京クラブの谷岡理香さんと武井涼子さん。インターンには、林乙羽さん、家田菜穂子さんら5名が決まっている。海外経験があり、またすでに事業を行っているなどハイレベルのメンバーがそろった。

今回の注目は、日本BPW連合会としてNGOCSWに申し込んだ「日本文化への女性たちの挑戦(仮)」というイベントが受理されたことだ。

3月15日(土)午後2時半から、チャーチセンターで、歌と解説によるパフォーマンスを行う。これは武井涼子さん(東京クラブ)の希望と熱意で実現した。必要な費用は武井さん自身がクラウド方式で募金活動を行い、その一部は東北支援に当てる方向だ。

こうした新しい活動が今後、いろいろな方向を考えるヒントになることを希望している。

東日本大震災復興支援事業
「女たちの、女たちによる仕事づくり」
支援事業所訪問報告

連合会副理事長 棚田美津子
仙台クラブ主催で北海道・東北ブロック研究会が 11 月 16・17 日の 2 日間開催されました。

2 日目の 11 月 17 日は被災地オプションツアーを組み、バスをチャーターして、被災地へ向かいました。

3 月 11 日以前はここにあったであろう家々・・・。

家も人生も、全てをなくしてしまった方々に思いを寄せて仮設住宅を訪問して、皆様のお話を伺いました。どのお話もなぐさめようがなく、心痛むものでした。

石巻市の大川小学校では校舎のすぐ後ろに山があり、「そこに避難していたら・・・」と、誰もが無念に思ったことでしょう。

支援対象事業所訪問も 2 か所を計画に入れました。

第 2 回目に贈呈する事が出来た東松島市大字寺沼の『のり工房矢本』と、同じく『つぎはぎすっぺ茶』の 2 か所です。

のり工房矢本は、以前訪問した際に加工工場としていた市民センター別棟の中に、他の団体の生産品も販売できるお店を再建していました。現在、代表の津田さんは別の所に工場を設けて生産しているとのこと。支援金が生かされていることを実感いたしました。

つぎはぎすっぺ茶の代表庄司さんもお元気で、現在は以前商品を作っていた蔵を材料置き場として使い、自宅を改造して縫物をする方の広場にしていました。自宅の隣を、保健所から許可をとり、製品の陳列、喫茶室、事務所に改造していました。庄司さんたちの製品は布製品ですので、皆さんの例会等でぜひ販売して頂きたいと思います。

まだまだ復旧はしていません。支援した事業所はほんの点にしかすぎません。その点の皆様をこれからも心に思い、支援していきたいと思います。

東日本大震災復興支援事業

「女たちの、女たちによる仕事づくり」支援団体

第 1 回支援事業所(3 事業所)

- ・(株)千葉商店(海苔加工販売)・マリンマザーズ吉里吉里(海藻食品加工)・ともこ助産院(支援高齢者手作り品販売)

第 2 回支援事業所(2 事業所)

- ・のり工房矢本(のり製造販売)・つぎはぎすっぺ茶(手芸品製作販売)

第 3 回支援事業所(4 事業所)

- ・サンガ岩手(手芸による仲間づくり、生きがいくくり、仕事づくり支援)
- ・生き生き農園(豆腐加工販売)
- ・互助団体・多目的ホール「みんなの家」(支援物資による製品販売、作品検討会、お茶会)
- ・広田半島営農組合野菜部・加工部工房めぐ海(地元食材活用の菓子、味噌などの製造販売)

書籍出版！ 2012. 10 発売（ドメス出版）

日本 BPW 連合会東日本大震災被害者支援の記録

『3. 11 女たちが走った』

—女性からはじまる復興への道—

英語版出版について

翻訳作業報告

編集担当 平松昌子

2013 年度初の役員会で、企画担当者として「3・11 女たちが走った」の英訳版の制作を提案し、了承を得た。東日本大震災という未曾有の自然災害に直面したとき BPW の会員が災害とどのように取り組んだかを書き残しておく必要があるとの判断で、『3・11 女たちが走った』をドメス出版から世に送り出した。この本は、私たちの支援活動についての記録であると同時に寄付を寄せてくださった方への報告の意味もあった。

そして 2012 年秋、この本が完成したとき、海外の友人たちからは是非英語版をと要請されたことが、この本作りを提案した理由である。

具体的な編集・制作方針は固まっていなかったが、とりあえず原作を読み直し、外国人から見てもわかりやすい形に手を入れたものを、会員のボランティアで英訳する作業を開始した。前書きを改め、1 章の地震の章は、東日本大震災のメカニズムに関する記述を、世界規模での災害という視点で書き直し、3 章(東北の章)と 5 章(支援の章)を二ノ宮寛子さん(東京)と濱田啓子さん(札幌)、そして花崎正子さん(北九州)にお願いし年末にはその翻訳が出揃う予定となっている。今後この原稿を見直して、若干の原稿を加えて何とか 3 月の国連女性の地位委員会(CSW)に持参できるようにしたいが果たしてどうか・・・。

間に合わない場合は、5 月のチェジュ・コンGRESSでの配本となる。

また、この制作費として村田美夏ヤング委員長(東京)から使途指定のご寄付 20 万円を頂戴した。



被災を免れた石蔵と「つぎはぎすっぺ茶」の作業風景

2013 年日本 BPW 連合会 ブロック研究会 ヤング・スピーチコンテスト&講演会

< 報 告 >

西日本ブロック研究会 《担当：福岡クラブ》

楽しく働く！リアルに働き続ける！
～M字カーブのない社会に～

【日時】2013 年 10 月 26 日(土)13:00～16:30

【会場】福岡国際ホール大ホール A

【プログラム】

■ヤング・スピーチコンテスト

テーマ「私と仕事」

20～30 代の福岡の女性たち 5 人が熱く語りました。

■講演『女性がいきいきと働き

活躍できる社会になるために』

講師：村山由香里

福岡県男女共同参画センターあすばる館長

■リレートーク

スピーカー：

野口美津江さん/北九州クラブ

長沼邦子さん/長崎クラブ

山形 葵さん/熊本クラブ

ベ・ヘションさん/福岡クラブ

関東・山梨ブロック研究会 《担当：東京クラブ》

今、求められる生き方、社会貢献！

【日時】2013 年 11 月 2 日(土)13:00～

【会場】女性就業支援センターホール

【共催】シモンズカレッジ（米ボストン）

フィッシュ・ファミリー財団（米ボストン）

【後援】内閣府男女共同参画局

【プログラム】

■ヤング・スピーチコンテスト

テーマ「仕事と私」

■講演『社会貢献でメシを食う』

ー日本の女子力が世界を変えるー

講師：竹井嘉昭氏

ソーシャルプランニング代表

■リレートーク

『自分のためじゃない、社会のために・・・』

コーディネーター：

名取はにわ/日本 BPW 連合会理事長

スピーカー：

山田史織氏/SMILEJP Co.Ltd ディレクター

向田麻衣氏/Coffert Project 代表理事

松尾茜氏/株ミ ドクラ事業開発シニアマネージャー

竹井莉佳子氏/CSW2013 インターン生、ロンドン大学 UCL 卒業

平松昌子氏/CPI 常務取締役、連合会役員、JWLI 第 1 期生

■交流会

北海道・東北ブロック研究会 《担当：仙台クラブ》

東日本大震災 女性からはじまる復興への道

【日時】2013 年 11 月 16 日(土)～17 日(日)

【プログラム】

< 第 1 部 >

【会場】松島町中央公民館

■講演会

『女性からはじまる復興への道 松島町の取り組み』

講師：磯田悠子さん

ホテル松島大観荘取締役副社長

■ヤング・スピーチコンテスト

< 第 2 部 >

【会場】松島ホテル一の坊

■アサーション・グループワーク

■交流会

< 第 3 部 >

■エクスカッション：被災地訪問

近畿ブロック研究会 《担当：和歌山クラブ》

女性の力がビジネスをリードする

～経済に活力を与え、地域を活性化し、世界に活躍の場を広げよう～

【日時】2013 年 12 月 7 日(土)13:30～

【会場】和歌山市男女共生推進センター 6 階ホール

【プログラム】

■講演

『女性の活躍で社会を元気に、そして日本も元気に！』

講師：宮井真千子さん

パナソニック株式会社役員

■ヤング・スピーチコンテスト

■ほっと一息♪プチ・コンサート

演奏：クローバー・アンサンブル

■交流会



< 予 告 >

中部ブロック研究会 《担当：岐阜クラブ》

女性の力がビジネスをリードする

～経済に活力を与え、地域を活性化し、世界に活躍の場を広げよう～

【日時】2014 年 2 月 15 日(土)13:30～15:30

【会場】ホテルグランヴェール岐山 3F 羽衣の間

■講演会『地域ブランドが世界の風について』

講師：市原慶子さん

(有)JP コーポレーション代表取締役

■ヤング・スピーチコンテスト『仕事と私』

<Topic 1>

前UN Women 会長ミッチェル・バチェレさんがチリ大統領に当選。おめでとうございます。

—2013. 12. 20.—

<Topic 2>

BPWI ヨーロッパ・リージョナルコーディネーター、サビーニさん(スイス)が京都を訪問。

京都クラブ志野会長にお世話頂き、花崎国際委員長と名取理事長が会談。コンGRES、BPWIの現状やスイスのBPW、フィリピン災害、イコール・ペイ・デイについて、話し合われました。

—2013. 12. 15.—

訃報

2013年12月21日、高橋久子様のご逝去なさいました。女性初の最高裁判事であり、またBPW連合会会長(1083-1087)として現在の礎を築かれました。ご冥福をお祈りいたします。

日本BPW連合会は今後も復興支援を続けていきます。皆様のご協力をおねがいいたします。

「女たちの、女たちによる仕事づくり」復興支援金

■郵便局からのお振込の場合
記号 10080
番号 32423911
口座名 トクヒ)ニホンビーピー
ダブルレンゴウカイ

■銀行からのお振込の場合
ゆうちょ銀行
店名 〇〇八(セロセロハチ)
店番 008
普通預金
口座番号 3242391
口座名 トクヒ)ニホンビーピー
ダブルレンゴウカイ

お振込み時の担当者にお願ひ

・振込み手数料はご負担願ひます
・クラブ名を明記願ひます

※通帳に表示されるのは、半角 9 文字、全角だと 8 文字までのため、BPW は不要ですが、入れる場合は、必ず英字で願ひします。

良い例 ◎トウキョウクラブ

◎BPW トウキョウ

悪い例 ×ビーピーダブルトウ→東海?東京?

×ビーピーダブリュ→クラブ名不明

×担当者個人名→検索必要

国連安保理決議第 1325 号の実施に関する

日本の行動計画策定に向けた意見交換会 報告

東京クラブ 土田アイ子

2000 年国連安保理が採択した(女性・平和・安全保障)に関する決議 1325 号について、日本 BPW 連合会は、加盟している国際婦人年連絡会と連携して、実効力ある国内行動計画を策定することを、政府に働きかけてきた。



アンワルルン・K・チョウドリ氏(右)

2013 年 8 月、この 1325 号草案作成に NGO とともに携わった元国連事務次長アンワルルン・K・チョウドリ博士を囲む懇談会に、名取理事長、東京クラブ会員の上原、渡辺、河村、土田が参加。

チョウドリ博士は、紛争下の女性の被害、紛争解決、平和構築に女性の果たす役割、意志決定には重要であると。平和の文化の担い手として男女の共生を訴えられ、災害にも同じことがいえると断言。

この懇談会后、かねてより外務省に連絡会として、国内行動計画早期策定を要望してきたこと、更に 2013 年 3 月に国連 CSW57 の演説で日本政府は、早期に策定に取り掛かると明言していることを踏まえ、「日本の NGO からの意見、提言等をしっかり盛り込んで欲しい」という、外務省の企画で女性団体の代表を外務省に招いて意見を聞くという会が持たれた。

その会合には、平松、上原、渡辺、土田会員が参加。その後、ワークショップ等が生まれ、より具体的、実効性のある内容にするため、検討会が行われている。検討会は、少人数グループとして、学識経験者、市民連絡会、外務省、関係省庁等も加わって議論が継続中。議論の概略は外務省の HP でも公開。女性・平和・安全保障に関する行動計画は、女性の参画が不可欠。

BPW 連合会が所属するワーキング第 2 グループのワークショップも 1 月半ばより新しい年の議論がはじまる。

外務省のスケジュールは、計画の策定・公表を 6 月か 7 月とイメージしているが、BPW から参加している上原会員も連合会役員と連携をとりながら、より良い 1325 号行動計画策定に取り組んでいる。

【経過】

9/18 : 第 1 回意見交換会/於外務省、土田・上原

10/18 : 第 2 回意見交換会(少人数グループ結成)/於外務省、平松・上原

10/31 : 第 1 回少人数グループ全体会(「国際協力・災害・難民」に参加申込)

11/ 8 : 第 1 回国際協力ワーキンググループ

11/22 : 第 3 回意見交換会(少人数グループ代表者)

< 予 告 >

イコール・ペイ・デイ全国会議 ～イコール・ペイ・デイを広めるために～

【講師】佐藤博樹氏(東京大学社会科学研究所教授)

【日時】2014 年 4 月 19 日(土)13:00～

【会場】婦選会館多目的ホール

【後援】内閣府・厚生労働省

賃金格差への挑戦

イコール・ペイ・デイ

同一価値労働・同一賃金をめざして!!



<編集後記> 2013 年は、2020 年東京オリンピックにハラハラ。フィギアスケートのソチ五輪代表選考にもハラハラ。そして私の年末年始は、NL にハラハラ。2014 年はどんな 1 年でしょうか? 4 月にはイコール・ペイ・デイ全国会議、5 月には山形大会と済州島コンGRESなど、連合会は予定がいっぱいです。塩崎智子